



にじのはし幼稚園 園だよ



令和2年11月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美

先日は、学年ごとの「〇〇組 にじっこ運動会」へのご参加・ご協力ありがとうございました。それぞれの学年なりの楽しさや頑張りを、保護者の皆様に見ていただいたり一緒に楽しんでいただいたりすることができました。「子供の表情や動きから、本当に楽しんでいるんだな、と感じました。」「成長した姿に感激しました。」といった感想をいただきました。年長組では、『『どうしたら勝てるか相談するんだよ。』『負けちゃうこともあるけど、勝つことだけがいいんじゃないんだよ。』と毎日、リレーのことを話してくれていました。』『友達と心や動きを合わせて取り組む姿に感動しました。』といった感想をいただきました。

今年度は感染症予防のため、様々なことが例年のように実施できず、保護者の皆様に子供たちの様子を見ていただくことにも工夫が必要となっています。しかし、子供たちは着実に成長をしています。今後も子供たちの学びをしっかりと保証するよう、教育活動に工夫を重ねていきます。保護者・地域の皆様に子供たちの成長を共有していただくことは、さらに成長していく子供たちの力になります。今後も参観や参加の機会を工夫していきます。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

にじのはし幼稚園では、11月12日に「港区教育委員会研究奨励園」として、研究主題「人も自分も大切にする にじっこの育成 ～道徳性・規範意識の芽生えから見る評価の工夫～」について、研究発表会を行います。感染症予防をする中ですが、区内幼稚園・小学校教員、区内保育園、都内12区の関係機関等からの参会をいただく予定です。

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。幼稚園では、それぞれの能力を個別に育てるのではなく、遊びや生活を通して総合的に育てています。その中でも、「心の育ち」は、全ての育ちに深く関わるものです。しかし、心の育ちは容易に測れるものではありません。にじのはし幼稚園では、教育目標の一つである、「人も自分も大切にする子」の育成をめざし、研究を進めてきました。

幼児期は、「優しくしようね。」「仲良くしましょう。」等、言葉で伝えれば育つ時代ではありません。「道徳性・規範意識の芽生え」は、他の幼児や様々な人との関わりの中で、自分の感情や意思を表現しながら、ときには自己主張のぶつかり合いによる葛藤などを通して互いに理解し合う体験を重ねる中で育まれていきます。幼児の育ちを支える教員の援助は大変重要であり、適切であったかを評価し指導の改善、指導力の向上を図らなければなりません。幼稚園で展開される遊びや生活の中で、「道徳性・規範意識の芽生え」を見取り、幼児の育ちゆく姿を見据えながら、瞬時に一人ひとりに合ったよりよい援助ができるよう、日々研鑽をしなければなりません。研究の成果を生かし、今後も教育活動を進めてまいります。

晩秋から冬へと向かう季節となりました。肌寒い日が増えていきますが、積極的に戸外遊びをしたり、てくてくデーで地域に出掛けたりと、元気に過ごしていきたいと思っております。